

平成 18 年 10 月 18 日
記 者 発 表
国土技術政策総合研究所
道 路 局

「道路の走りやすさをカーナビが教えます」 “カーナビ版”道路の走りやすさマップの共同研究参加者の公募について

国土交通省では、道路の幅やカーブの大きさなど、道路構造上の「走りやすさ」を表した「走りやすさマップ」の作成に取り組んでおり、平成 17 年度までに、九州各県お試し版、全国 17 のモデル地区お試し版を作成・公表するとともに、平成 18 年度より道路重点施策の一環として位置づけ、9 月に全国お試し版を公表致しました。

今後、更なる活用方法として、カーナビや Web 路線検索サービス等への展開に向けた具体的な取り組みについて検討を進めるため、走りやすさマップのカーナビ等への活用に関する共同研究を実施することとし、下記のとおり共同研究への参加者を公募することと致しました。

記

名 称：走りやすさマップのカーナビ等への活用に関する研究
研究主体：国土交通省国土技術政策総合研究所及び公募により選定された民間企業
公募方法：官報公示及び国土交通省国土技術政策総合研究所ホームページ掲載
公募期間：平成 18 年 10 月 18 日（水）～11 月 16 日（木）
公募内容：共同研究の公募内容を参照のこと（概要を別添に示す）
（共同研究ホームページ <http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kyoudou/index.htm>）

以上

【資料】別添 1 走りやすさマップの概要
別添 2 官民共同研究の概要

<問い合わせ先>

国土交通省 国土技術政策総合研究所

高度情報化研究センター 情報基盤研究室 研究官 関本 義秀

代表 029-864-2211 直通 029-864-7492

国土交通省 道路局 道路交通管理課

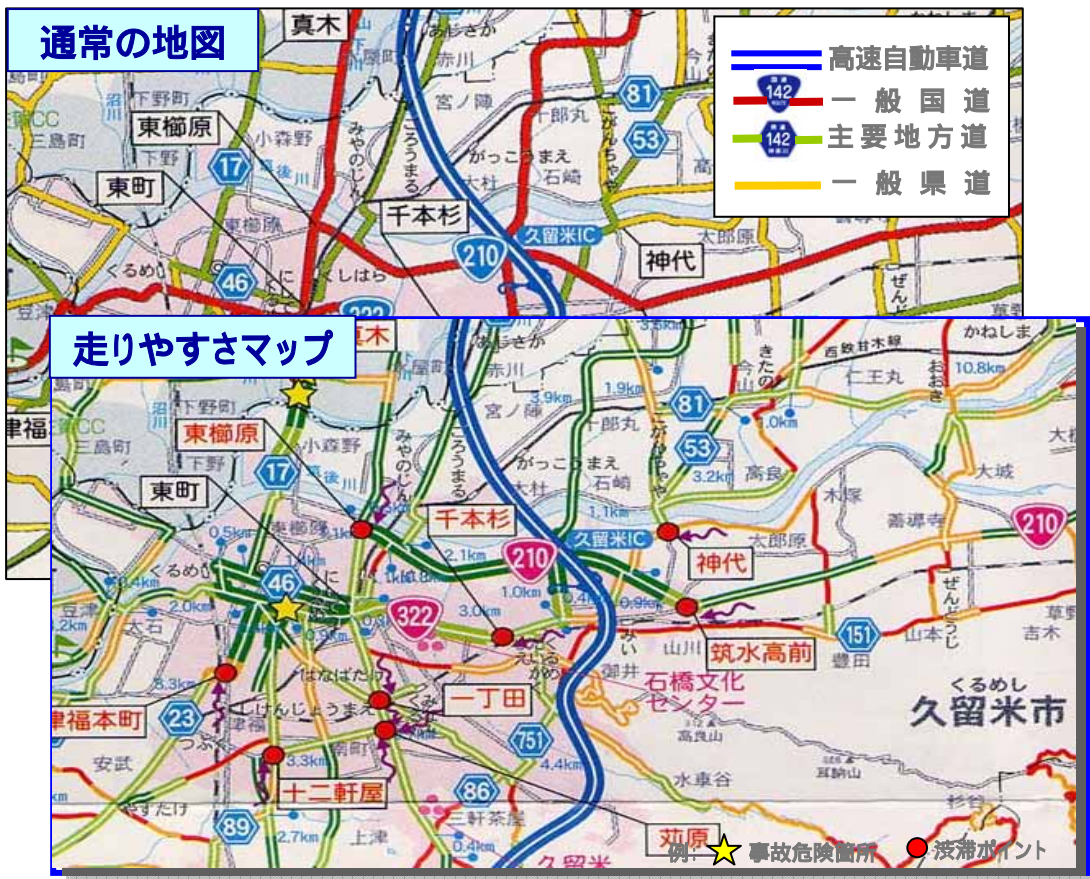
高度道路交通システム推進室 課長補佐 吉本 紀一

代表 03-5253-8111(内線 37462) 直通 03-5253-8484

本記者発表資料については、国土交通省ホームページ（アドレス：<http://www.mlit.go.jp/>）にも掲載しています。

1. 走りやすさマップの概要

- 道路の幅、カーブの大きさ・多さ、歩道と車道の分離状況などにより、以下の6段階に分類。
- 高速道路や国道・県道に加え、観光者が利用すると便利と思われる大規模林道や広域農道、主要な市町村道についても情報を提供。
- 平成17年度に九州各県お試し版及びモデル地区お試し版、平成18年9月に全国お試し版を公表
- 今後、走りやすさマップをカーナビ等へ展開、安全運転支援としてのサービス効果も期待



通常の地図と走りやすさマップの比較

自動車専用道路 (走りやすさのイメージ)	走りやすさ ランク	走りやすさの分類
 自動車専用道路で、スムーズな走行が可能	M	「道路の走りやすさ」について、道路の幅、カーブの大きさ・多さ、歩道と車道の分離状況などにより、以下の6段階に分類しました。
 ①2車線以上の道路で、5km以上にわたって、カーブ・勾配が緩やか。 ②路肩も広く、歩行者がほとんどいないか、歩道と車道が明確に分離されている。 ③主要な道路との平面交差が平均して1箇所/km以下。	S とても走りやすい	
 ①2車線以上の道路で、カーブ・勾配が緩やか、 ②歩道もしくは広い路肩がある。	A 走りやすい	 ①2車線以上の道路で、カーブが緩やか、 ②同時に自転車が走れる歩道があり、路肩も広い。
 ①2車線以上の道路で、緩やかでないカーブ・勾配が多少ある。 ②路肩が狭いところがある。	B	 ①2車線以上の道路。 ②少なくとも片側に歩道がある。
 ①1車線の道路で緩やかでないカーブがある。 ②2車線以上の道路で急カーブ・急勾配がある。 ③路肩が狭いところがある。	C	 ①2車線以上の道路。 ②歩道がない。
 ①1車線の道路で急カーブが連続。 ②路肩が狭い。	D 走りにくい	 ①1車線の道路。 ②歩道がない。

走りやすさランク

2. 官民共同研究の概要

～ 走りやすさマップのカーナビ等への活用に関する研究

- 研究期間 平成18年11月～平成21年2月
- 国土技術政策総合研究所は、全国の走りやすさに関する道路構造情報データの集約・提供を行い、カーナビ等での活用に必要な地図情報項目を検討。
- 民間は、カーナビやWeb路線検索システム(PCや携帯端末からアクセス)を開発し、走りやすさに関するサービスを提供。

国土技術政策総合 研究所の役割

- デジタル道路地図への関連付け仕様検討
- 全国データ集約・提供のための品質確保
- 効率的なデータ更新の仕組み検討
- カーナビ等での活用に必要な地図情報項目を精査



全国の走りやすさに関する道路構造情報データの集約・提供

民間の役割

- 走りやすさデータのカーナビ等への組込
- ルート検索等機能の開発
- ユーザーのニーズ調査

連携



カーナビへの展開イメージ



高齢者でも安心して
運転できる、走りや
すい道路を検索中